

(公財) 滋賀県産業支援プラザ あなたの夢をサポートします！ 創業支援 NewsLetter 2019.7月号

(公財)滋賀県産業支援プラザでは創業プラザ滋賀(創業サロン・創業オフィス)、草津 SOHO ビジネスオフィス、米原 SOHO ビジネスオフィス、滋賀県立テクノファクトリーを運営しています。創業や新技術開発など、インキュベーション・マネージャー(IM)による成長段階に応じた支援を行っています。

創業をお考えの方は、(公財) 滋賀県産業支援プラザ 創業支援課まで 077-511-1412

■令和元年度「起業準備応援補助金」募集終了 19件 4,994千円のご応募をいただきました

令和元年6月28日(金)、初回となる「起業準備応援補助金」の募集が終了しました。

この補助金は滋賀県内の起業準備中や起業して間もない方々に対して、事業化・市場化の道筋をつけるための取り組みを支援機関が伴走支援するとともに、それに係る経費に対し補助を行うことにより、滋賀県における創業機運の醸成を図ることを目的としています。

令和元年5月21日の募集開始から、この新しい補助金を広く起業家の皆さんや支援機関の方々に知って頂くために、県内7カ所の商工会、商工会議所さんで説明会を実施いたしました。

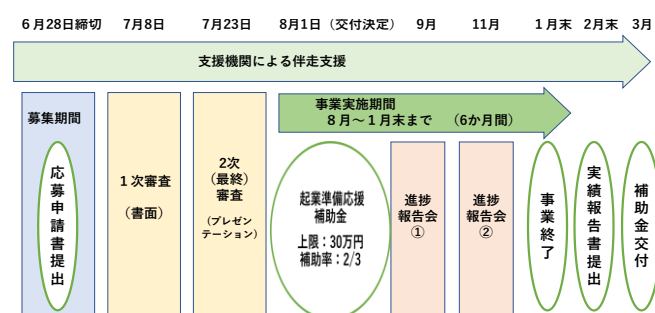
その結果、約1か月半の募集期間に19件、4,994千円分のご応募をいただきました。

今後の予定としては7月8日(月)の一次書面審査と、7月23日の二次プレゼンテーション審査を経て、補助金の採択者さんが決まります。

この補助金が他の補助金と大きく違う点は、ただ単に補助金を交付するのではなく、最初から最後まで支援機関の支援担当者二人三脚で事業を進める点がひとつ。また、一次書面審査会に先立ち、県内の支援機関の支援者による意見交換会を開催し、応募された事業計画の改善点や支援手法をアドバイス、共有することで、県内の創業支援に携わる者の支援能力向上と連携支援体制の強化を目指しているところにあります。

全体の予定は以下の通りです。

<令和元年度 起業準備応援補助金スケジュール>



令和元年度の募集期間は終了しましたが、こちらの補助金にご関心のある方は、滋賀県産業支援プラザのホームページの以下のバナーに常時情報を掲載しておりますのでご利用いただければと存じます。よくある質問や、ご参考までに今年度の募集概要もご覧いただけます。

加えて、今年度の補助金に採択された方々にご利用いただける各種申請様式もこちらからダウンロードしていただけるようになっております。

<プラザ HP のこちら↓をクリックください>



補助金の案内

起業・創業に関する補助金の案内です。

● 起業準備応援補助金

また、引き続きお電話での問合せにも対応しています。どうぞ下記補助金事務局までお気軽にお問い合わせください。

補助金事務局 公益財団法人滋賀県産業支援プラザ
創業支援課 谷口、大隅
大津市打出浜2番1号コラボしが 21 2階
TEL:077-511-1412 FAX:077-511-1418
Eメール:in@shigaplaza.or.jp

■ 「アントレプレナー養成講座」を開催しました

6月7日(金) コラボしが 21 の3階会議室において「アントレプレナー養成講座」を開催しました。今年度上半期は、滋賀大学社会連携センターと共催にて「基礎編」3回、「応用編」3回を予定しており、今回は基礎編の第1回目となります。

講師は、プラザや他の支援機関でも実績十分、受講者からも人気の小川宗彦税理士にお願いしました。

基礎編ではレクチャー形式で事業の基盤構築に必要な知識を身につけてもらうことを意図しており、小川氏からは、起業間もなし、起業準備段階だからこそ知っておいて欲しい知識や昨今の社会情勢に応じた起業に必要な考え方等についてご講演をいただきます。



第1回目の今回は“個人事業か法人設立か？”“会社(法人)形態による違いは何か？”といった基礎的な事柄や実際に株式会社を設立するフローについて丁寧に説明いただきました。

事業をスムーズに成長させるためには、起業した後に必要に応じて対策を講じるのではなく、起業する前段階から目的や目標に応じて、適切な手段を準備しておくことが効果的です。特に、会計財務といった数字面の理解や準備は避けて通ることができないものですが、苦手意識を持つ人が多いようです。2回目以降も会社経営の仕組みと数字面を体系的に捉え、身につけていただけるような内容となっています。応用編(7/19.24.31)への参加も募集中です。ぜひお申込みください。



■ まいばらデザインスクール(第3期)を開催しました

デザインをキーワードに県東北部の活性化を促進すべく、デザインにかかわる人材の育成や連携を目的に「まいばらデザインスクール」の第3期を県立文化産業交流会館との共催により開催しました。

デザインやプロモーション全体を考える時、背骨となるコンセプトが弱いことで伝え方がちぐはぐになってしまうケースが多々あります。これは発注側だけでなく、受託してデザインを創る側(制作側)にも言えることであり、「コンセプト設計」とはそもそもどういうことか?具体的なケースを用いて、この本質に迫る全3回の講座としています。

前年度、第2期では具体的な案件を掘り下げることで、より当事者感を持って学び、自分のチカラをつけてもらえるように企画、開催しました。第3期となる今回もこの方向性をキープ、より一層フカボリすることで参加者一人ひとりの“地チカラ”をつける場としています。

今期の参加者は、前期までの参加者だけでなく新たに参加された方も多く、主なターゲットとして募集時に求めた「良いコンセプトに本気でなりたい人」「具体的な案件(テーマ)を持って話ができる“本気”の人」が集いました。



第1回目(6/19)は、ファシリテーターを北川雄士氏に、講師を市田恭子氏にお願いし、コンセプトについて第2期のおさらいと、取組中、検討中の具体的な事例を講師と参加者から取り上げ、レクチャーと議論をおこないました。

毎回ごとに課題が出され、次回には取り組んだ課題をもとに進めていく内容となっているため、参加者も講師も真剣です。全3回終了後には、参加者には“地チカラ”がきっと身につくことでしょう!

創業支援 News Letter
発行:(公財) 滋賀県産業支援プラザ
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号
TEL:077-511-1412